

21世紀の躍動

輝け アグリ更埴

平成14年～平成18年

ともに築く農業・農村プラン



更 埴 市
更埴市農業農村プラン推進委員会
平成14年3月

女性が、農業が生きいき輝く未来に向かって

我が国の食料自給率は40%（供給カロリーベース）と、その大部分は海外から輸入をしなければならぬ状況にあり、国内の農産物は、安い輸入農産物の影響により価格が低迷するなど、生産者にとっては大変厳しい環境にあります。

また近年は、農業従事者の高齢化や担い手不足など、農業経営の深刻化に伴って、特に女性の皆様が農業経営に主体的に取り組まれる状況が大変多くみられ、もはや女性は我が国農業の重要な担い手となっています。

しかし、農村においては、女性の役割や能力がまだまだ十分に生かされていない現実もあることから、市では、平成13年に「更埴市農業農村プラン策定委員会」を設置し、農業や農村における女性のあり方について研究を進め、このほど、その成果として「^{とも}男女に築く更埴市農業農村プラン」を策定いたしました。

このプランは、農業・農村における女性の参加や役割、地域づくりの実践など具体的な課題と活動内容について、わかりやすく解説しておりますので、農業経営に携わる全ての皆さんにご一読いただき、これからの「農業・農村づくり」に役立てていただければ幸いに存じます。

更埴市長 宮坂 博敏

この度多勢の皆様のご協力を頂いて、“^{とも}男女に築く更埴市農業農村プラン”をまとめることができました。関係機関の皆様に深く感謝を申し上げます。

農業者の半数以上を占めている女性が日本農業を支えている今、くらしに夢と希望をもって輝いて生きていけるように目標を定めました。

更埴市生涯学習課では、平成12年7月に男女共同参画社会についての意識調査結果をまとめ、13年2月にはプラン“ともに輝く21”が発行されました。

本プランの策定委員会でも、男女合わせて282名の方にアンケートのご協力を頂き重点課題をピックアップいたしました。

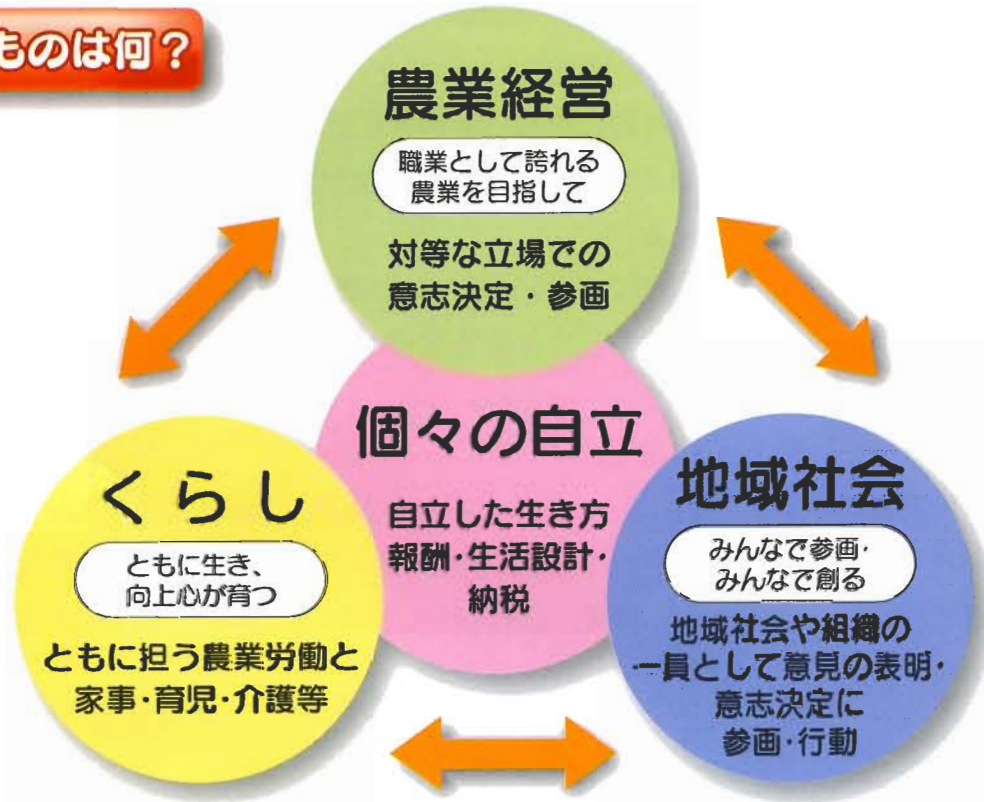
大切な日本農業を守っていくために、個人として、家庭人として、また農業に携わる職業人として、そして豊かな地域づくりの為に参画する社会人として、いきいき輝いてくらししていきたい。苦しくても諦めないで夢を持ちつづけてほしい。そんな思いを込めてこのプランを策定いたしました。

「明日に向かって生きる指針」になることを願っています。

更埴市農業農村プラン策定委員長 渡邊すみ子

ともに築く更埴市農業農村プラン

めざすものは何？



基本目標

わたしもあなたも輝く 心豊かな地域の創造

どんな考え方で？

一人ひとりが、自分の生きかたや生活のスタイルにあった行動を選択し個人が尊重される農家・農村社会をめざします。

【パートナーシップが発揮できる農業・農村の確立】

農業経営主及び経営パートナーとしての経営参画

農業を中心として選んだ農村女性が、主体的に新たな部門経営に取り組むとともに、対等な立場で経営に参画することにより、安定した農業経営の発展をめざします。

生活者の視点を育て活かしたくらし

お互いがかけがえのない家族として認め合える関係づくりと、楽しみやゆとりがもてる農家生活をめざします。

男女がいきいきと活躍する社会

男女が共に対等な立場で地域社会に参画できる条件を整備します。

何をやるの？

基本目標

あなたもわたしも輝く 心豊かな地域の創造

重点(目標)

1 健康と生きがいのある農業経営
【農業経営】

2 夢とゆとりのある豊かな暮らし
【くらし】

3 みんなで創りだす魅力ある地域
【地域社会】

課題と活動内容

生きがいと自信の持てる農業経営
 ・地産地消を推進し販路開拓
 ・地場特産品の開発
 ・安全安心、美味しい農産物の生産

自然環境を考えた循環型農業の推進
 ・土づくり、減農薬、有機栽培への技術向上
 ・有機資源のリサイクルと利用促進

個人の能力が発揮できる条件整備
 ・経営の役割分担
 ・年代に応じた農業経営
 ・農休日、労働報酬、収益分配の導入

一人ひとりが尊重される家庭
 ・家族経営協定の推進
 ・家族の支え合いと生活の自立

豊かさが実感できる暮らし
 ・地域特産物を活かした食生活の推進
 ・個人の自由時間とゆとりのある暮らし

夢とゆとりのある暮らしの継承
 ・快適さやおいのあふく暮らし
 ・次世代への食文化、伝統文化の継承

安心して楽しく暮らせる地域づくり
 ・新しい地域慣習の確立
 ・支えあい農業の推進
 ・男女共同参画の意識の醸成

農業やくらしを支える地域活動の推進
 ・男女が協力して取り組む地域づくり
 ・身近な健康づくりへの取り組み
 ・営農支援センターへの参画と利用

次代を担う子供たちの食農教育
 ・子供たちの食農教育の推進
 ・農業体験による地域とのふれあい推進

いつまでに？

平成14年度から平成18年度の5年間です。

どうすすめるの？

- プラン推進リーダーの育成
 - 農村女性団体連携会議等との連携強化
 - 市、JA、関係団体との連携
 - 地域での推進
- などを中心に取り組みを進めます。

行動計画

1. 健康と生きがいのある農業経営

① 生きがいと自信の持てる農業

- ◎地産地消を推進し販路拡大
 - ・収入の上がる農業経営で働きがいを実感しよう。
- ◎地場特産品の開発
 - ・セミナー、講習会へ積極的に参加して、資質を高めよう。
- ◎安全安心、美味しい農産物の生産
 - ・消費者の求める農産物生産に努めよう。

② 自然と環境を考えた循環型農業の推進

- ◎土づくり、減農薬、有機栽培への技術向上
 - ・体力のある農地で健全な作物づくりを目指しましょう。
- ◎有機資源のリサイクルと有機肥料の利用促進
 - ・身近で豊富にある資源の活用を考えましょう。

③ 個人の能力が発揮できる条件整備

- ◎経営の役割分担
 - ・経営に即した役割分担による、農業経営を考えましょう。
- ◎年代に応じた農業経営
 - ・自分の体力に応じた無理の無い農業計画を立てましょう。
- ◎農休日、労働報酬、収益分配
 - ・男女に個人としての尊厳を重んじましょう。



実践事例



誕生！ そば打名人

手作り特産品直売

2. 夢とゆとりのある豊かなくらし

① 一人ひとりが尊重される家庭

◎家族経営協定の推進

- ・互いの権利を認め合い安心できる経営体制を確立しよう。

◎家族の支え合いと生活の自立

- ・家族の負担を分かち合い、
自分で出来ることは進んでやりましょう。

② 豊かさが実感できるくらし

◎地域特産物を生かした食生活の推進

- ・地域で採れる農産物を食卓に取り入れよう。

◎個人の自由時間と団らんのあるくらし

- ・ゆとりのもてる経営計画のもとで、家族の絆を強めよう。

③ 夢とゆとりのあるくらしの継承

◎快適でうるおいのある住環境の整備と伝統文化の継承

- ・快適でうるおいのあるくらしの工夫と食文化や伝統文化を守り伝えていこう。



3. みんなで創りだす魅力ある地域

① 安心して楽しく暮らせる地域づくり

◎男女が協力して取り組む地域づくり

- ・ともに考え行動できる体制を作り出そう。
- ・女性の感性を生かした地域づくりを進めましょう。

◎地域慣習の見直し

- ・女性の意見を取り上げられる体制づくりを確立しよう。
- ・自ら地域の会合に参加し、積極的に発言しよう。

◎女性の登用及び活動の推進

- ・男女に相手を尊重し、女性の社会参加を進めよう。
- ・日頃から地域に目を向け、自ら考える力を養いましょう。

② 農業やくらしを支える地域活動の推進

◎新しい地場産業起こしの推進

- ・女性の感性を生かした地場産業起こしに取り組もう。
- ・地場農産物に付加価値をつけて、有利な販売を確立しよう。

◎身近な健康づくりへの取組み

- ・自分と家族の健康管理を考えましょう。

③ 次代を担う子供たちへの食農教育

◎食農教育、農作業体験への支援

- ・子供たちの食と農の正しい理解を高める努力をしましょう。
- ・農作業体験から次代を担う農業経営者を養いましょう。

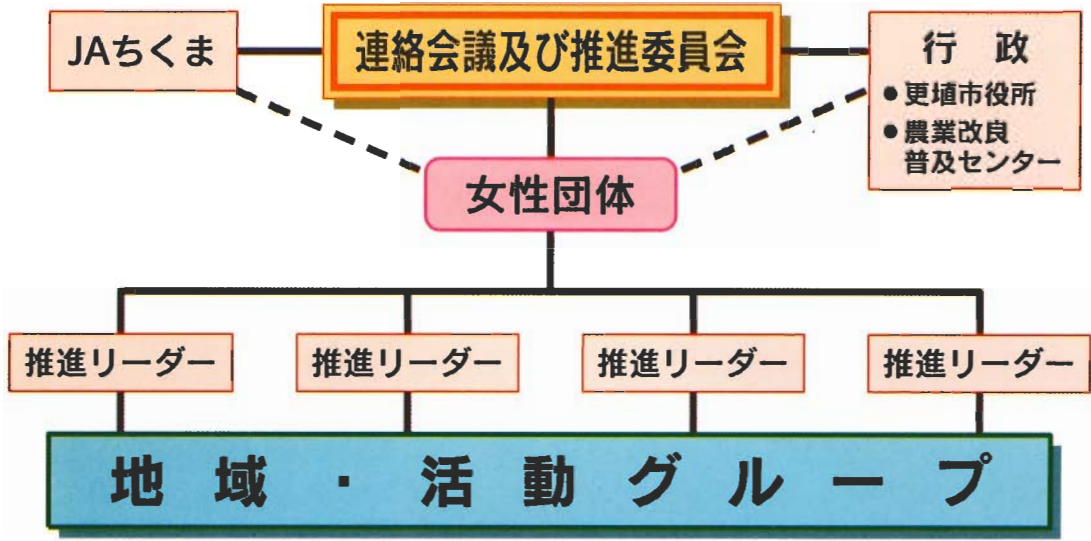
④ 地域で支えあう営農の推進

◎地域営農支援センターの活用

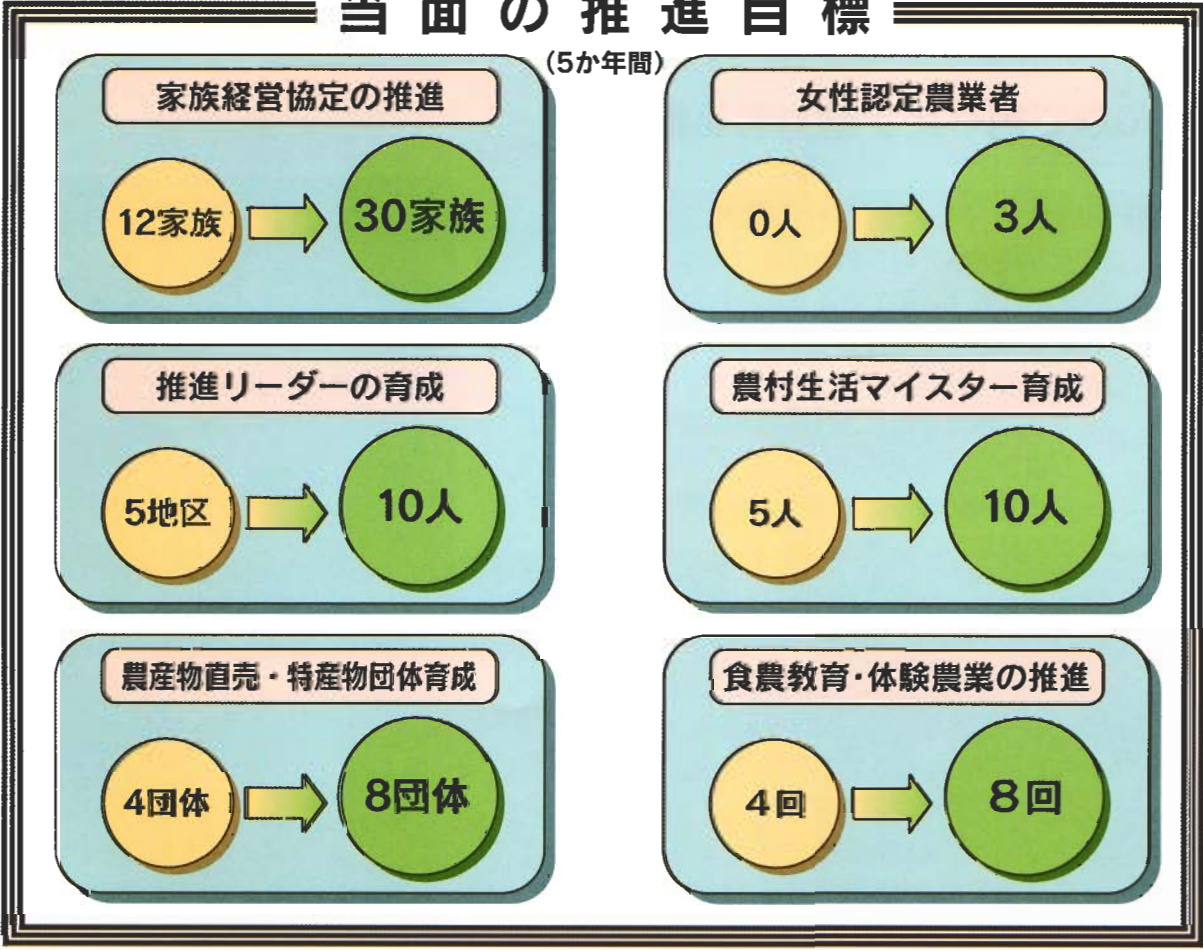
- ・みんなが参加し共に支える営農支援体制を確立しよう。
- ・営農支援センターを活用し、負担とまらない農業経営へ脱却しよう。



組織図



当面の推進目標



"輝け アグリ更埴" 策定委員会

会長／渡邊すみ子 副会長／倉島 清・西村安子
 委員／小林佐紀子・宮坂淑子・唐木田美代子・宮坂良子・櫻井清子
 杵淵晴子・中山千恵子・柳澤信子・鈴木光代・笠井二三子
 協力／JAちくま・長野農業改良普及センター更埴支所・更埴市農林課
 更埴市農業委員会

お問い合わせは下記まで

農業農村プラン推進委員会事務局
 更埴市役所 経済部農林課内
 Tel 026-273-1111
 Fax

実施アンケートの結果

回答集計概要

- 農業経営が主体の農家は全体を取り仕切る家族のもと、「営農計画」「簿記記帳」「雇用者」「市場情勢の管理」等の幅広い役割分担に取り組んでいます。
- アンケート農家の、地域満足度も高く、全般に自給農家の良さを発揮し、農業への魅力を感じつつ農業研修・特産品づくり等への関心など活力も伺われます。

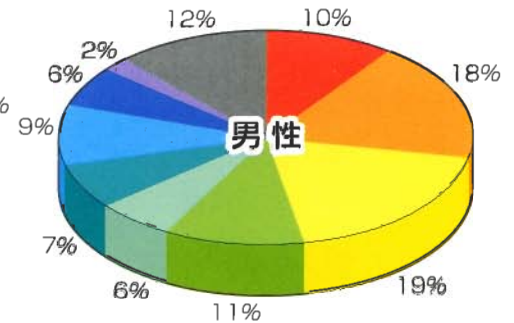
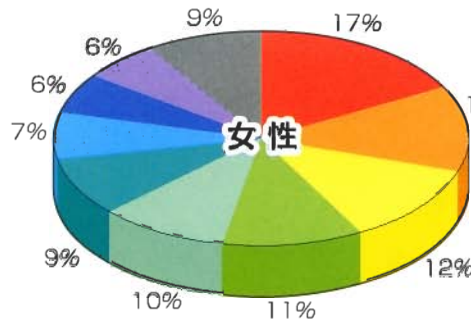
アンケート協力者

内訳	
男性	48人
女性	234人

男女	
20代~30代	17人
40代	48人
50代	92人
60代以上	125人

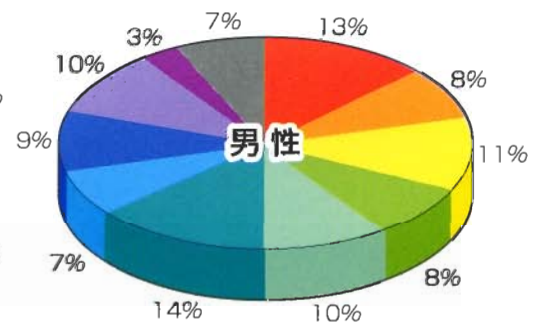
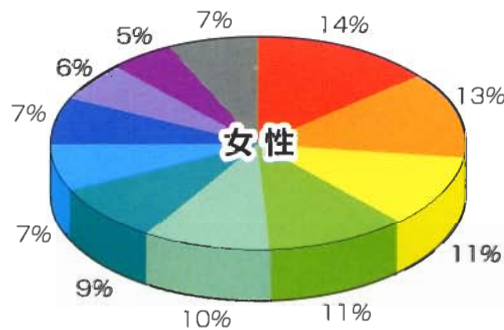
女性がいきいきと農業に取り組むために必要なものは？（複数回答）

- 仲間づくり・情報交流機会
- 労働報酬の確保
- 責任のある経営分担
- 地域での支援体制
- 女性向け作物導入
- 家事・介護・育児の支援体制
- 農休日確保
- 女性向け作業体系
- 労働時間取決め
- その他



地域で行って欲しいことはどのような事ですか？（複数回答）

- 福祉の充実
- 講習、学習会への参加
- 仲間づくり
- 交流の場づくり
- 趣味・旅行
- 生活環境の整備
- 労力交換
- 特産品づくり
- 環境汚染問題
- 農産物の直売
- その他



女性の登用を阻む原因はなんだと思いますか？（複数回答）

- 役職は男性という意識が根強い
- 女性は力不足という意識が強い
- 女性登用という意識が薄い
- 女性自身の力・経験不足
- その他

